

情報の入手

正確な情報を集め、冷静に行動しましょう！

ぜひ知ってほしい！

大牟田市防災専用ホームページ 防災リアルタイム情報

災害時の避難情報、市内の被害状況の位置や画像、避難所の開設状況、混雑状況などを確認することができます。
平時には、過去の浸水実績や浸水想定区域、土砂災害警戒区域などが確認できます。



dボタン広報誌

テレビのデータ放送を活用し、警報等の発表状況や避難情報の発令状況、避難所の開設状況などをお知らせ。
1チャンネルのKBCに合わせ、dボタンから「dボタン広報誌」を選択してください。



気象庁防災情報

気象レーダーや雨量、台風、地震、津波など様々な気象情報を確認できます。「あなたの街の防災情報」では、見たい情報をカスタマイズして表示することもできます。詳しくは気象庁のホームページへ。



福岡県総合防災情報

土砂災害の危険度情報や、河川水位、川の映像などが確認できます。



防災に関する最新情報を自ら積極的に入手し、身を守る行動に役立てましょう。
あらかじめ、どのような情報がどこから発信されるかを確認しておくことが大切です。

大牟田市公式LINE (ライン)

防災情報がメッセージで届く

LINE ME!
今すぐお友達登録

愛情ねっと (安心安全・地域情報) メール配信システム

緊急情報や防災・防火・火災などの情報がパソコンや携帯電話にメールで届く

Twitter (ツイッター)

アカウント名は「大牟田市緊急情報【公式】」
災害情報やその他緊急情報をスピーディーに発信

Facebook 大牟田ちよっども課

災害情報だけでなく、イベントの告知や様子、旬な見どころなどを随時発信

FMたんと (79.3MHz)

大牟田・みやま・荒尾のコミュニティFM。災害時には、必要な情報を即時放送

福岡県防災メール まもるくん

福岡県の防災メール配信システム。大雨や洪水等の気象情報や、河川の水位情報などがメールで届く

自動音声ガイダンス (災害情報)

防災行政無線や広報車で放送されている内容が確認できる

☎0800-805-1407 (通話料無料)

災害情報テレホン・FAX

避難所の開設や避難情報などを電話又はFAXでご案内

※登録申込みは、市のホームページや地区公民館にある申込書で

Yahoo!防災速報

様々な防災情報が迅速にプッシュ通知される

防災行政無線

小中学校や地区公民館などの屋上に設置している拡声器から防災情報を放送します

緊急速報メール (エリアメール)

避難情報、特別警報、緊急地震速報、国民保護情報が届く

※一部の通信業者では未対応

自分に合ったツールで情報を入手しよう！



避難情報

警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	避難に時間がかかる人は 危険な場所から避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後の気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確認できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

自主避難について

危険を感じたらすぐ避難しましょう

局部的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

避難に関する3つの情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。3種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

警戒レベル3 高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況

- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めましょう。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常時持ち出し品の用意など避難の準備を始めましょう。

警戒レベル4 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況

- 避難指示が発令された校区にお住いの方は直ちに避難をおこなしましょう。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取りましょう。

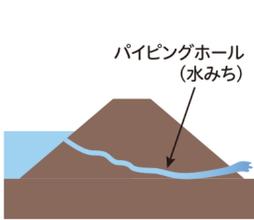
警戒レベル5 緊急安全確保

既に災害が発生しているか又は災害が発生直前であったり、確認できていないものどこかで既に発生しているにもかかわらず、安全な避難が難しい状況

- 命が危険な状況ですので、直ちに安全な場所で命を守る行動を取りましょう。
- 自宅の上の階や、崖から離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保するようにしましょう。

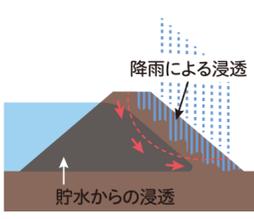
ため池被災のメカニズム

豪雨によるため池の被災



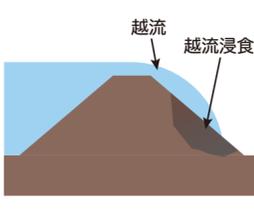
● 浸透破壊

堤体内が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇した時に堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する可能性がある。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する可能性がある。



● すべり破壊

貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する可能性がある。



● 越流破壊

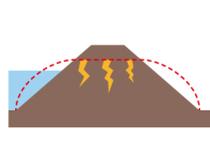
豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する可能性がある。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する可能性がある。

地震によるため池の被災



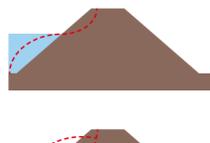
● クラック

堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する可能性がある。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることもあり、特に注意が必要である。



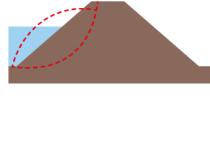
● 沈下

堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する可能性がある。多くは軟らかい地盤で発生している。



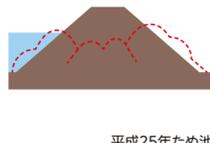
● 斜面崩壊

堤体法面の上部が沈下し、下部ははらんで変形が生じる可能性がある。



● 斜面すべり

地震動により堤体の法面にすべりが発生する可能性がある。



● 崩壊

堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する可能性がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液化化によるものと考えられる。

平成25年ため池ハザードマップ作成の手引きより引用

浸水深と流速の関係

集中豪雨や長雨が発生すると、土砂災害や内水はん濫、河川はん濫と複合した災害が発生する可能性があります。テレビやラジオなど、災害が予測される場合は、早めに避難行動をとるように心がけましょう。なお、避難が遅れた場合は、無理な避難を行わず、身の安全確保に心がけましょう。

浸水深	浸水の目安	流速との関係
5.0m以上	2階の軒下まで浸水する程度	流速が1.5m/s～ 安全な避難は困難
2.0m以上～5.0m未満	2階の床下まで浸水する程度	
1.0m以上～2.0m未満	1階の軒下まで浸水する程度	
0.5m以上～1.0m未満	大人の腰までつかる程度	流速が0.5m/s～1.5m/s 水深が膝以下のとき避難可能
0.5m未満	大人の膝までつかる程度	流速が0.5m/s 水深が腰以下のとき避難可能

出典:「洪水ハザードマップ作成要領解説と運用改訂版」(平成12年9月、河川局治水課)